



2020年3月6日

各位

会社名 株式会社 鳥貴族
代表者名 代表取締役社長 大倉 忠司
(コード番号：3193 東証第一部)
問合わせ先 管理部 部長 小畑 博嗣
(TEL. 06-6562-5333)

第2四半期累計期間の業績予想と実績の差異に関するお知らせ

2019年9月13日に公表した2020年7月期第2四半期累計期間の業績予想値と本日公表の実績値との間に差異が発生しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2020年7月期第2四半期累計期間の業績予想と実績の差異 (2019年8月1日～2020年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	17,403	847	823	469	40.48
実績値 (B)	17,410	1,358	1,344	789	68.12
増減額 (B-A)	6	511	520	320	
増減率 (%)	0.0	60.3	63.2	68.3	
(参考) 前期実績	17,843	359	340	53	4.63

2. 業績予想と実績との差異の理由

売上高は第1四半期に台風の影響があったものの、新商品やキャンペーン、忘新年会シーズンの食べ飲み放題プラン「トリキ晚餐会」のご利用増加等が寄与し、概ね当初業績予想通りの着地となりました。一方、アメーバ経営の取り組みにより店舗運営経費等を抑制することができ、各段階利益は予想値を上回りました。

なお、通期業績につきましては、今般の新型コロナウイルス感染拡大による政府からの自粛要請を受けた様々なイベントの中止や在宅勤務の広がり等による国内消費動向の変化が当社業績に影響を及ぼす可能性を想定し、下期については予断を許さない状況が続くものと認識しております。

当社におきましては、日ごろから出勤時の体調確認や1時間に1度の衛生的手洗い等の衛生管理を行っておりますが、改めて啓蒙・徹底するなど衛生管理に努める等の措置のうえ営業を行っております。しかしながら、下期の動向を見通すことが難しく現時点で業績予想の算定が困難であるため、上期の業績は好調であったものの通期業績予想につきましては、前回予想を据え置くこといたしました。

以上